



LETTERS

2019年12月発行

公益財団法人
佐倉国際交流基金

〒285-0025

佐倉市鏑木町198番地2

TEL・FAX 043-484-6326

佐倉市国際文化大学 30周年記念行事

佐倉市国際文化大学は、1990年に開講し今年で30周年を迎えました。国際情勢や国内外の政治・経済・文化を学ぶことを主旨として開設されたこの講座は、時代の流れや世界情勢の変化と共に、取り上げるテーマの傾向は様々に変わってきましたが、常にその道の第一人者である講師の先生をお招きし、大変有意義で貴重な講義を毎回開催しています。

「国際感覚を高め、世界の動きに積極的にかかわれる資質を身に着ける、という他に類を見ない真に学べる生涯学習の場が、平成2年にスタートすることとなりました。文大のこの30年は、まさに世界が大きく変動した平成の30年とも言えます。」と片岡学長はおっしゃられています。

佐倉市国際文化大学はその運営を、全てボランティアの皆さんが担っているということも、とても大きな特色です。これは、市民主導による大学運営という開学時の構想を体現したものです。運営全体、広報を担う総務部、活動計画、講師の先生との折衝を行う学生部、講義の録音を聞き、それを講義録にまとめる編集部、などその活動と才能は、ボランティアの域を越えています



10月5日に30周年記念講演と式典が佐倉厚生園記念館で行われました。特別講師に、かつてニュースキャスターとして大活躍され、卒寿を迎えられた現在も外交評論家として、数々の講演をされている磯村尚徳氏をお迎えしました。

「歴史の転機を生きるヨーロッパ 一仏・独の現状と政治劣化のアメリカ」をテーマに1時間半に及ぶ講義を立ったまま行われました。その確固たるご発言とエネルギーには、参加者一同圧倒されました。

続く式典では、ご来賓の方々にご挨拶をいただき、佐倉男声合唱団の温かい歌声に場が和み、そしてレセプションでは、参加の皆様は大いに飲み食べ、交流を楽しまれました。

次年度も既に魅力的な講義内容が決定しています。最近では、政治や経済のみならず、芸術、文学などの分野も充実し、男女を問わずお楽しみいただけるカリキュラムとなっています。募集は来年3月から始まります。皆様のご応募をお待ちしております。



日本語講座のつどい

今年で第3回を迎えた「日本語講座のつどい」が11月17日（日）ミレニアムセンター佐倉で行われました。

通年の木曜日から日曜日、市内の5施設で行われている日本語講座の学習者とボランティア講師の先生たちが一同に会し、それぞれのクラスからのパフォーマンスや、日本語によるスピーチなどが行われました。スピーチでは、「将来は日本でスペイン語の先生になりたい」というペルー人の高校生や、いつも自信を持って行動する、出かける時は「忘れ物はないかな、“自信”はもったかな。」と確認するという素敵で結びで終えたベトナム人のスピーチ、自国の津波の被害に心を痛み、応援を呼びかけるインドネシア人の話しなど皆さんの堂々とした話しぶりに、聴衆は聴き入りました。

続くパフォーマンスの部では、祖母がこの日のために送ってくれたという衣装をつけたネパールの女の子のダンスが、そのリズム感、柔軟性、指先にまで神経の行き届いたプロフェッショナルなものでした。また近隣の日本語学院の皆さんによるベトナムのダンスはアオザイの美しさとあいまって、観客を魅了しました。司会も学習者が日本語で行い、日頃の学習の成果を目の当たりにするよい機会となりました。

最後に全員で合唱した「幸せなら手をたたこう」は、日本語、英語、中国語、スペイン語で歌われ、それらを母語とする人たちが、壇上で誇らしげに歌う姿を見て、他国にいても自国の文化や自分のアイデンティティを持ち続けていくことのすばらしさを強く感じました。



強く感じました。

当日は、家族一同で参加の姿も多く、楽しそうな笑顔があちこちで見られ、大盛況のうちに終了しました。日本に来日する外国人は近年急増しています。特に日本に来たばかりの方々などがこのつどいを通して、互いに新たな結びつきを作ることができ、今後の生活に役立てていっていただければと思います。



このつどいは、関口実行委員長を始めとしたボランティア講師の皆さんの尽力により、企画・運営されています。講師の皆さんは、いつも生徒さんたちのことを親身になって考えています。スピーチをする生徒さんを我が子のように見守る姿が印象的でした。今年はボランティアに佐倉高校の男子生徒3名が加わり、活躍してくれました。



若い世代の人たちがこのようなイベントに積極的に参加してくれることはとても心強いことです。そして、日本語講座で学んだ外国人の皆さんが、お世話になった思いをいつの日か、どこかで何かの形で返してくれたら・・・と願っています。



佐倉国際スピーチコンテスト

佐倉国際スピーチコンテストが10月20日(日)に、佐倉ミレニアムセンターで開催されました。コンテスト形式の中学生の部は、既成の英文を暗唱するレシテーションの部と、自分で作った原稿を発表するスピーチの部が行われました。佐倉市内のみならず、近隣の市から参加の中学生も多く、非常にレベルの高い大会となりました。結果は以下の通りです。

【入賞者】

◇中学生「英語スピーチ」の部(敬称略)

賞	氏名	学校	タイトル
第1位	菅野 結菜	佐倉市立西志津中学校	Lady Luck
第2位	恩田 英海	専修大学附属松戸中学校	My unforgettable school trip
第3位	中川 咲音	佐倉市立志津中学校	No, Minato!

◇中学生「英語レシテーション」の部(敬称略)

賞	氏名	学校	タイトル
第1位	鈴木 綾乃	我孫子市立我孫子中学校	Education First
第2位	須藤 紗恵	佐倉市立臼井中学校	The Cookies
第3位	海老原 響	我孫子市立我孫子中学校	Education First
第3位	山田 優希奈	我孫子市立我孫子中学校	The One Eyed Mom



午後の小学生の部は自由発表で、小学1年生から6年生までの参加者は、自分の好きなことや将来の夢、旅行の思い出など様々な事柄を一人一人、堂々と発表していました。この経験を生かして中学生になっても参加してほしいと思います。

ご 案 内

◇国立歴史民俗博物館

企画展示「ハワイ：日本人移民の150年と憧れの島のなりたち」

場所： 企画展示室A・B

会期： 2019年10月29日(火)～12月26日(木)

開館時間：午前9時30分～午後4時30分

(入館は午後4時まで) 休館日： 月曜日

同時期開催：第4展示室特集展示「石鹸・化粧品の近現代史」

会期： 2019年12月3日(火)～2020年5月6日(水)

第3展示室特集展示「描かれた寺社境内」

会期： 2019年12月24日(火)～2020年2月2日(日)

*最新情報は、歴博HP等でご覧下さい。



◇DIC 川村記念美術館

<開館30周年記念> ふたつのまどか

会期： 2020年3月20日(金)～7月26日(日)

開館時間： 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日： 月曜日(祝日の場合は、翌日が休館日となります。)

*最新情報は、DIC 川村記念美術館HPでご覧下さい。

創業以来、佐倉市先崎にて、ラベンダー畑のあるゴルフ練習場と墓苑を営んでいます。地域の皆様がたにはもちろん、遠くからも足を運んで頂き、長きにわたり愛され続けています。

毎年6月上旬から7月上旬にかけてのラベンダーの咲き誇る季節には、香りと共に賑わいを見せ、ゴルフの練習や、お墓参りに訪れる方々にもお楽しみ頂いております。

最近では、ホームページをはじめ、インスタグラムやLINEでも弊社の情報を発信しております。ゴルフ練習場では、ツアープロやインストラクターが、各種スクールを展開。小さなお子様もレッスンに励んでいます。またレストランでは、毎日、シェフが腕を振るい、



美味しいランチを楽しみに来られるお客様もいらっしゃいます。

是非、ユーカリ・ゴルフプラザ、佐倉ラベンダーランドへお越しください。従業員一同、笑顔で皆様をお待ちしております。

■〒285-0851 佐倉市先崎 233

■ユーカリゴルフプラザ 043-463-1242

■HP : <https://www.warabisangyou.co.jp/>

○賛助会員募集

国際交流活動に興味があり、当基金の事業に賛同していただける方のご入会をお待ちしております。

会員特典

- ・佐倉市の国際交流活動についての情報「SIEF Letters」の郵送
- ・佐倉国際交流基金（SIEF）主催のイベントの開催詳細情報をメールでご連絡
- ・賛助会員には、次のような割引制度があります。（個人会員のみ）
 1. DIC 川村記念美術館入館料の割引（団体料金）
 2. 市民音楽ホール主催のコンサートチケット割引（10%）
 3. 国立歴史民俗博物館入場料の割引（団体料金）

会費（年額）

団体・法人会員・・・1口	10,000 円	外国人会員・・・・・・1口	1,000 円
個人会員・・・・・・1口	2,000 円	学生会員（22歳未満）・・・1口	1,000 円

○外国人のための生活相談

市内に在住する外国人の方の生活に関する相談を受けております。お気軽に下記まで、お電話、メール、或いはお立寄り下さい。状況によっては、行政などとの連携のもと、相談員が支援活動を実施しています。予約が必要となります。

対応可能言語： スペイン語・英語・中国語

時間： 10:00～16:00 場所：事務局 他

（電話・FAX 043-484-6326 メール info@sief.jp）

公益財団法人 佐倉国際交流基金 事務局 (SIEF)

〒285-0025 佐倉市鎗木町 198 番地 2 レインボープラザ佐倉 2F

電話・Fax 043-484-6326（月～金 9:00～17:00）

HP: <http://www.sief.jp> Email: info@sief.jp